

熊本県土木部 復旧・復興のあゆみ 【第4号】

平成31（2019）年4月11日発行

【目次】

- 1 Top News
熊本地震で発生した山腹崩壊等に対する土砂災害対策が進行！
- 2 土木部復旧・復興トピックス（平成30年度下半期）
- 3 阿蘇へのアクセスルートの復旧状況
- 4 熊本地震等の災害復旧事業の進捗状況

がんばるけん！

くまもとけん！



© 2010 熊本県くまモン

1 Top News

熊本地震で発生した山腹崩壊等に対する土砂災害対策が進行！ ～砂防えん堤17箇所、地すべり対策3箇所、斜面对策28箇所に対策が完了～

熊本地震では、阿蘇地域を中心として山腹崩壊や地すべりなどの土砂災害が数多く発生しました。

県では、発災直後から崩壊土砂の撤去や大型土のう積みなどの応急対策とともに、土砂災害に対する恒久対策となる砂防えん堤などの砂防施設の整備に取り組んでおり、平成31年3月に多くの砂防施設が完了しました。

これまで砂防えん堤17箇所、地すべり対策3箇所、斜面对策28箇所に対策が完了しており、引き続き、県民の生命・財産や道路をはじめとする重要インフラを守る砂防事業等に全力で取り組みます。

砂防えん堤	地すべり対策	斜面对策
【南阿蘇村立野（立野川1）】	【南阿蘇村長野（火の鳥温泉地区）】	【南阿蘇村河陽（下鳥小塚地区）】
		
復旧前	復旧前	復旧前
		
復旧後	復旧後	復旧後
H31.3.22 復旧	H31.2.28 復旧	H31.3.22 復旧

2 土木部復旧・復興トピックス（平成30（2018）年度下半期）

●1月30日（水）

八代港クルーズ拠点形成に向けた駐車エリアの工事に着手

2020年4月の魅力あるクルーズ拠点の供用開始に向けて、国、県及びロイヤルカリビアン社の3者が連携して整備を進めており、県は駐車エリアの工事に着手しました。

●1月29日（火）

県道熊本高森線の4車線化工事に着手

地震により甚大な被害を受けた熊本都市圏東部地域の創造的復興に向けて取り組んでいる県道熊本高森線の4車線化工事に着手しました。

4車線化の整備イメージ



●2月2日（土）

県道八代不知火線横江大橋が開通

地震により通行止めとなり、平29年6月に仮橋を設置していた県道八代不知火線の横江大橋（八代市鏡町）の復旧が完了し、通行可能となりました。



【復旧前】



【復旧後（テープカットの様子）】

●2月15日（金）

南阿蘇村の災害公営住宅が完成

被災者のすまいの再建に向けて、市町村と連携して整備を進めている災害公営住宅が南阿蘇村下西原第1団地（28戸）で完成しました。



下西原第1団地

●2月22日（金）

宇土市神馬町のがけ崩れ対策工事が完了し長期避難世帯の認定が全て解除

地震により被災した宇土市神馬町におけるがけ崩れ対策工事が完了し、長期避難世帯に認定されていた4世帯13人の認定が解除されました。これにより、熊本地震による長期避難世帯の認定は全て解除されました。



●2月23日（土）

国道57号北側復旧ルート
二重峠トンネルが貫通

国により復旧が進められている国道57号北側復旧ルートの二重峠トンネルが貫通し、全線貫通式が開催されました。

2020年度の全線開通に向けて、引き続き工事が進められます。



国土交通省提供

●3月13日（水）

県道小川嘉島線府領第一橋が開通

地震により崩落した県道小川嘉島線の府領第一橋（甲佐町府領）の復旧工事が完了し、2年11カ月ぶりに通行が可能となりました。



【復旧前】



【復旧後】

●3月20日（水）

甲佐町における災害公営住宅の整備が全て完了

被災者のすまいの再建に向けて、市町村と連携して整備を進めている災害公営住宅が甲佐団地（30戸）で完成し、1月に完成した白旗団地（10戸）、乙女団地（12戸）と合わせ、甲佐町における全ての災害公営住宅の整備が完了しました。

12市町村で1,717戸の災害公営住宅を整備する予定であり、2020年春の完成を目指しています。

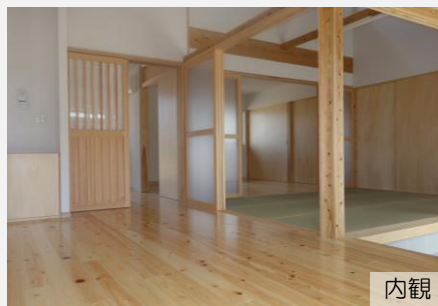
【災害公営住宅の整備状況】

市町村名	整備予定戸数	完成戸数
熊本市	326戸	99戸
宇土市	25戸	25戸
宇城市	181戸	98戸
阿蘇市	71戸	21戸
美里町	10戸	10戸
大津町	74戸	
西原村	57戸	57戸
南阿蘇村	94戸	68戸
御船町	100戸	30戸
嘉島町	54戸	
益城町	673戸	36戸
甲佐町	52戸	52戸
合計	1,717戸	496戸

※平成31年3月末現在



外観



内観

甲佐団地

●3月23日（土）

南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発グランドデザインの
公表会を開催（くまもとアートポリスプロジェクト）

県と高森町主催で、高森駅の建替えや駅周辺の再開発の構想となるグランドデザインを発表する公表会を開催しました。



高森駅周辺完成イメージ図

●4月1日（月）

益城復興事務所を益城町内に移転

県道熊本高森線4車線化及び木山地区の土地区画整理事業を担当する益城復興事務所を熊本市から益城町に移転しました。

これにより、住民に寄り添った迅速な対応が可能になるとともに、事業のさらなる加速化が期待されます。

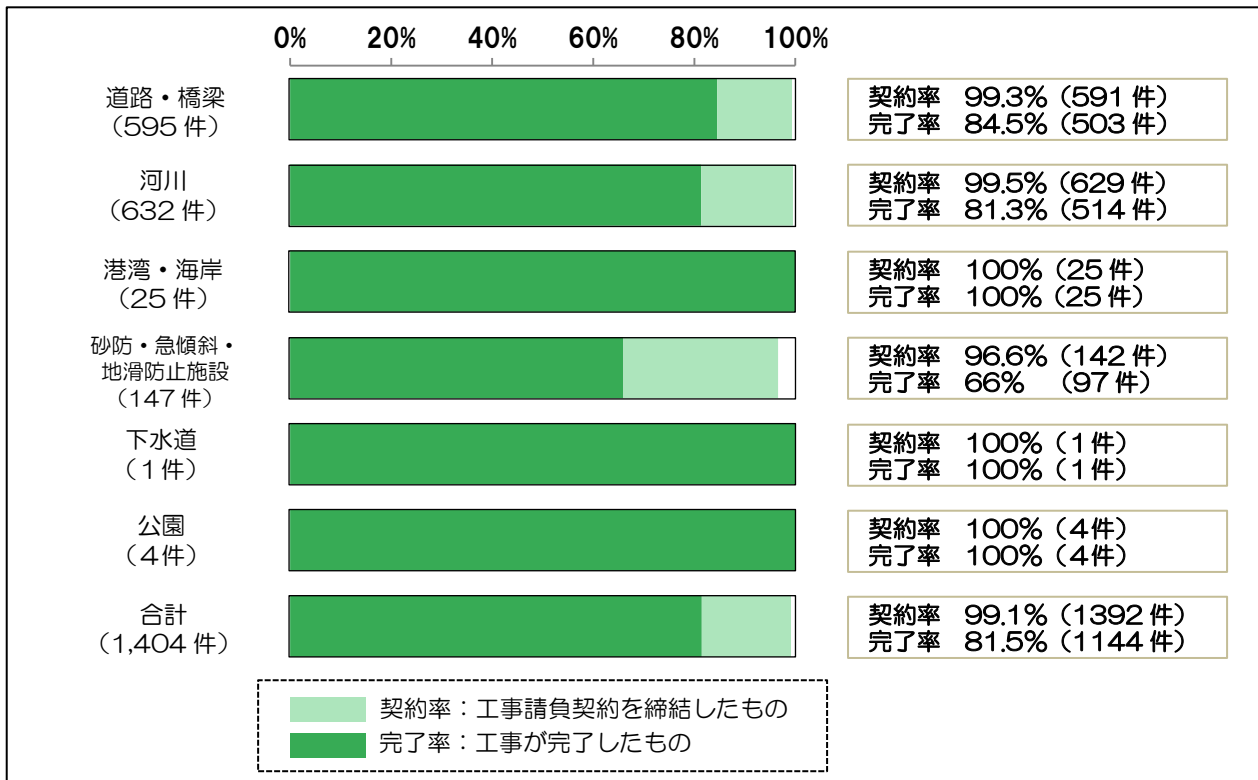
3 阿蘇へのアクセスルートの復旧状況



●また、地震から3年を契機として、これまでの復旧・復興の取組みをまとめた資料を県ホームページ上に公表しています。詳細はこちら↓

【平成28年熊本地震パンフレット(土木部版)】 https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_27331.html

4 熊本地震等に伴う公共土木施設災害復旧事業(県施工分)の進捗状況(件数ベース) 平成31(2019)年2月末現在



○記事に関する問い合わせ○
 熊本県土木部監理課政策班
 TEL : 096 - 333 - 2483